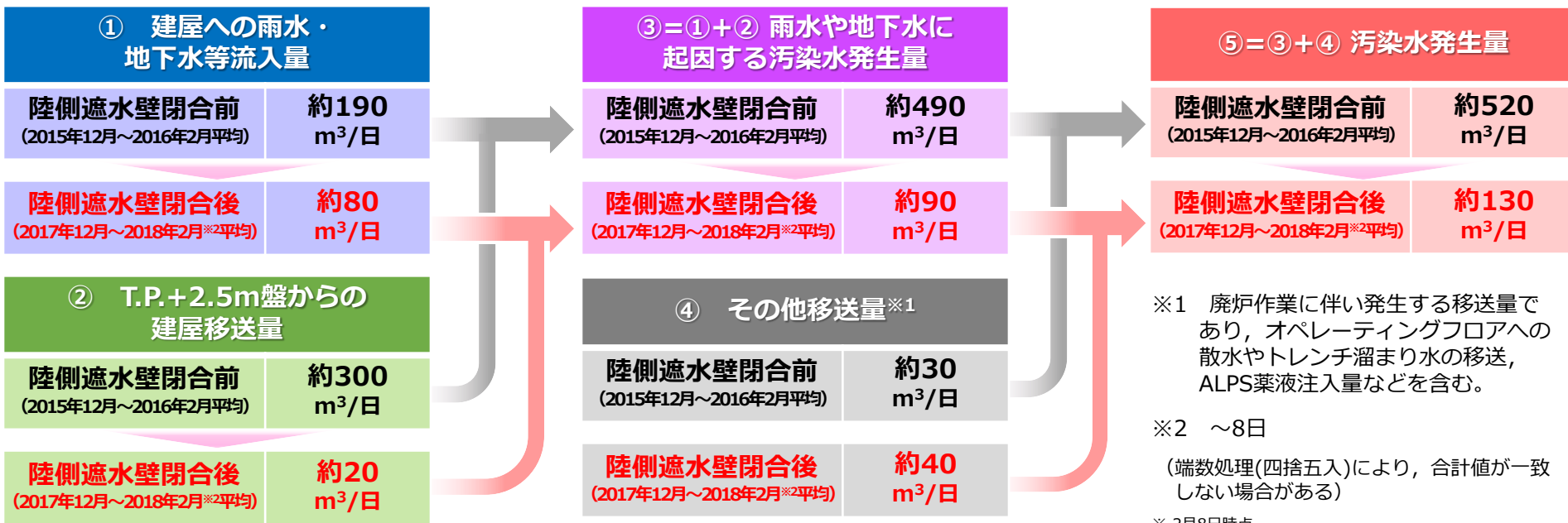


重層的な汚染水対策に伴う汚染水発生量の低減状況【～2/8】

汚染水発生量（雨水や地下水に起因する汚染水発生量にその他移送量※1を加えたもの）は、2017年12月～2018年2月※2の平均で約130m³/日まで減少しており、渇水期の参考データではあるものの、中長期ロードマップにおける2020年内の目標である150m³/日を下回っている。

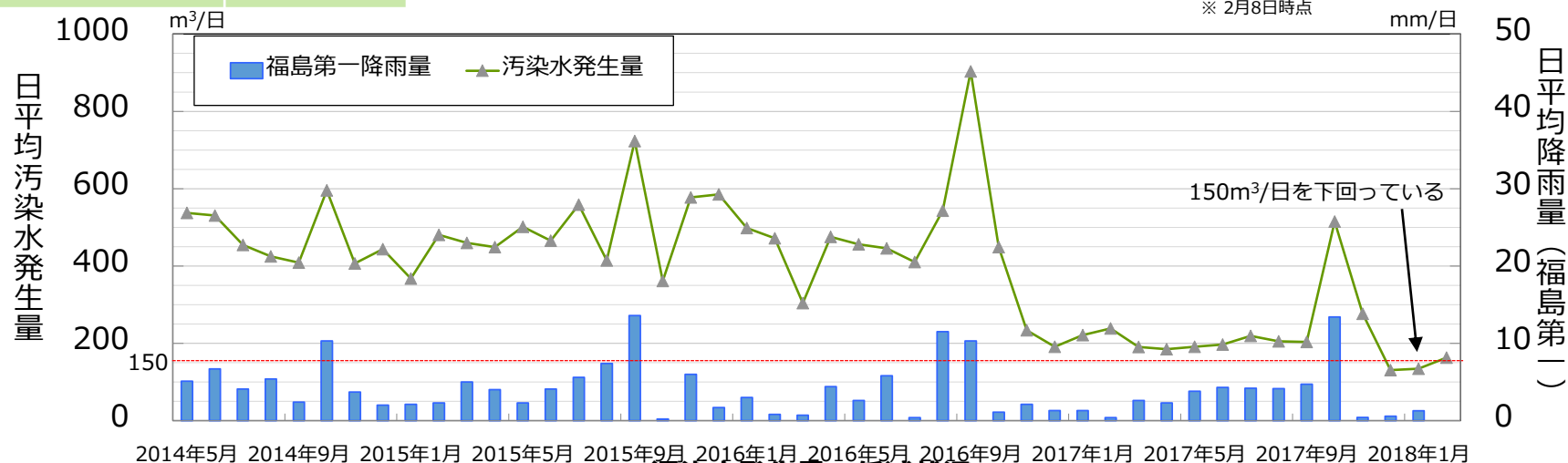


※1 廃炉作業に伴い発生する移送量であり、オペレーティングフロアへの散水やトレンチ溜まり水の移送、ALPS薬液注入量などを含む。

※2 ～8日

(端数処理(四捨五入)により、合計値が一致しない場合がある)

※ 2月8日時点



汚染水発生量の低減状況